



東区自治協議会

区ビジョンワークショップ報告

2021.11.25／東区プラザ

1. 開催概要

■日時：2021年11月25日（木）14：30～16：15

■会場：東区プラザ ホール

■自治協議会委員数：30名／当日出席27名

■企画運営：NPO法人まちづくり学校

〈進行〉メインファシリテーター 山賀昌子

グループファシリテーター 角野仁美・瀬倉隆博・知野孝子・中村華子・中村美香

■達成目標：区の目指すすがたを実現するための取り組みに対し、プラスとマイナスの評価を行い、項目ごとにまとめる。

（区の目指すすがたの方向性は、ワークショップの結果を受けて区でとりまとめる。）

■プログラム：次ページのとおり。

グループは、4つの目指す区のすがたごとに地域課で6班に編成した。「I.心地よく暮らしやすいまち」は取り組みが多いため3つの班で評価を行い、II～IVは各1班とした。係長級の職員が市民の立場として各グループに1名加わった。

- I. 心地よく暮らしやすいまち：1～3班
- II. 人が育つまち：4班
- III. 地域の力が活かされるまち：5班
- IV. 魅力あふれるまち：6班

意見交換の約束ごと
<p>全員が発言できて、意見が多く出せるように 1人が長く話しすぎないようにしましょう。</p>
<p>他の人の発言には耳を傾けましょう 自分とは異なる意見は新たな気づきになるかもしれません。 否定や批判はせず、まずは受け止めましょう。</p>
<p>一人一人が発言するだけでなく、気になることがあったら、 どんどん話し合いましょう</p>
<p>グループメンバー全員で協力し合って、 良い話し合いを創り出しましょう</p>

グループワーク開始前には意見交換時の心がけを

スライドで説明

これまでと
これからを
考える

東区自治協議会 区ビジョンワークショップ

日時：2021年11月25日（木）14：30～16：15

会場：東区プラザ ホール

プログラム

- 14:30 オープニング
あいさつ・趣旨説明・スタッフ紹介・プログラムの説明
- 14:40 ワークショップ～東区のこれまでとこれからを考えよう！
これまでの取り組みに対する各自の評価意見を発表し合い、意見交換を行って共有します。
- 15:40 グループワークの結果発表
1グループ2分で意見交換の結果を発表していただきます。
- 16:00 区長講評
- 16:05 クロージング
ふりかえりシートの記入・事務連絡など
- 16:15 終了

Mem o

■ワークショップのようす



2. グループワークのまとめ

■現計画の評価の集約または今後の方向性（一覧）

I. 心地よく暮らしやすいまち

- 子どもの安心安全を守ることを継続していく仕組みづくりが必要（大切にしたい）。
- 良いサービスを継続するために、よき担い手をつくる仕組みづくりが必要（大切にしたい）。
- 障がい者も高齢者も健康であれ、不健康であれ、心地よく暮らせるまちづくりが必要だ（大切にしたい、全部違っていい）。
- 本当に困っている人を連携して助ける。
- もっと PR する。
- 「東区はキレイ」という方向性はそのままグレードアップする。
- 中学生がポイントだ！
- ①多世代交流で体制作り・場づくりをしたい～心は昭和。目指すのはサザエさんです。
- ②区バスについて盛り上がりました。
- 東区の職員は最高！

II. 人が育つまち

- コロナ禍：ふれあいが減ったが、できることをするという工夫が必要。
- 学校と地域のつながり：子どもも大人も学ぶ、学びあい・相乗効果が増す。
- 多世代交流：若い世代が参入する工夫が必要、（子どもはいろんなことを）経験から学んでいく。

III. 地域の力が活かされるまち

- 地域活動の精査と（専門家への）アウトソーシング～これから地域で本当にやらなきゃいけないことは何か？みんなで検討していこう～
- 一家に一台タブレット！地域活動のDX化 ～地域情報の共有とプラットフォームづくり～

IV. 魅力あふれるまち

- 他にない東区の独自性（工場などの産業面）をもっと強く押し出し、活かす。
- 発信と理解のために、もっとPRが必要。
- 大切な自然（緑）は残したい。

■各グループの意見と集約

I. 心地よく暮らしやすいまち【1班】

ま と め イ ン ト ま た は	子どもの安心安全を守ることを継続していく仕組みづくりが必要(大切にしたい)。
	良いサービスを継続するために、よき担い手をつくる仕組みづくりが必要(大切にしたい)。
	障がい者も高齢者も健康であれ、不健康であれ、心地よく暮らせるまちづくりが必要だ(大切にしたい、全部違っていい)。

これまでの取り組みの評価		評価の集約または今後の方向性	
		個別意見	まとめ
I-1健康で安心安全に暮らせるまちづくり			
プ ラ ス	ファミリーフェスタやイベントは気軽に多世代が参加できて良い。	東区安心安全ファミリーフェスタでは、若い家族が多く、幅広い世代の区民にアピール大だった。お土産も色々あり、楽しみもあって好印象。 レジャーに出かける様に参加できる。 消防、警察の車両展示に老若男女の多世代が集まり良かった。	
	子育て支援施設の提供は、充実してきている。	子ども(学校に行く前)の遊び場や親子で学ぶ場があり、子育て支援が充実してきている。	
	子育て支援や高齢者への生活支援、低所得者支援を進めることは良いことだ。	少子高齢化、格差社会などの影響もあり、母子ともに孤立してしまうと地域でも聞こえてくる。子育て支援を進めることは良いことだ。	
	見守り隊の活動支援で子どもたちが安心安全に守られている。	登下校時の見守り活動で子どもたちの安全が守られている。 登下校時の見守り活動の支援は、子どもを交通事故や見知らぬ人から守るなど、親の目の届かない場所において、安心安全に有効である。	
	通学路合同安全点検の実施は安心安全に役立っている。	通学路の安全点検、改善は、「東区通学路交通安全プログラム」に基づき行われ、学童の見守りと共に安心安全に役立っている。	
	歩道の維持管理は安心安全に繋がるから必要。	歩道の維持管理は、幼児や高齢者にとって通学、通園、通行時に安心安全に事故から守ってもらえる。ガードレールや信号は必要。	
	自主防災組織の活動は、地域防災力の向上に効果が出始めた。	東区で地域アンケートを行ったが、防犯への興味は高かった。 防災意識、当事者意識を持つ人が増えた。	
	子育て支援が充実してきている。と感じられている。	子育て支援が充実してきている。	
	民生委員の協力のもと行われる高齢者見守り訪問は、評価されている。	民生委員の方が住民に寄り添って細やかな対応をしている。	
	健康づくりリーダーを育成し、自主的な活動を支援することが出来ている。	運動普及推進委員会さんのお蔭で当会介護予防教室を卒業された方々の自主グループが活動を維持されている。 3ヶ月の運動教室を卒業した人たちのサークルが立ち上がった。	
	特定健康診査は、新潟県の傾向に沿った重要な取り組みで良いと評価されている。	介護予防も重要だが、新潟は糖尿病(DM)・高脂血症などの生活習慣病の多い県と聞いている。介護予防と合わせて重要な取組みで良いと思う。	
	防犯カメラ3か年補助整備は、問題が軽減した。	子どもの遊ぶ場所に防犯カメラを設置すると、不審者やごみの問題が軽減する。	
子ども見守隊の担い手不足を解決する仕組みが必要だ。	登下校の見守り隊は、時間の都合上、高齢者のメンバーで固定化し、担い手がいらない。 「子ども見守り隊」にボランティアの高齢化、活動担い手不足が将来予想されるので、有料のシルバー人材や学校以外の人材に委託という方法もあるのでは？ 以前の見守り隊はPTAで行っていたが、親は朝夕仕事が忙しいし、世帯数が少ないため、なり手が少ない。 子どもは社会全体で安心安全に見守り育ってほしいが、仕事の方に時間がとられて学校まかせになったり、核家族では、鍵っ子になったり不安である。	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託ができる仕組みづくりを行いたい。 ・委託事業だが、時代にそぐわなくなってきた。 ・支える仕組みづくり。1回500円(例:送迎、介護、買い物) ・仕事も子育ても両方できる社会全体でオープンにする。 	

マイ ナ ス	子どもの遊び場と見守り隊の関わり方は、少子化に合わせて変化が必要。	環境の違いにより、放課後の活動に差が出る。公共の図書館やスクールバスでの通学など、将来は通学路以外の安心安全の見守りも必要。保護者の関わり方など、少子化により変わると思う。
	地域防災活動の情報が届いていない。	地区防災に熱心に取り組んでいるという話が聞こえているが、取組み内容や地域での活用方法が分からない。
	東区安心安全ファミリーフェスタの活動は、若い世代の担い手が必要だと認識して欲しい。	東区安心安全ファミリーフェスタの活動を若い世代に引き継いでもらうために、休日、一家で参加できる様なフェスティバルの形で、コロナ終焉後に生活の一部として必要だと知ってもらいたい。
	子育て支援の場に参加できない人、参加する余裕がない人への支援があると良い。	子育て支援の場に参加できない人、参加する余裕がない人への支援があると良い。
	シングルファザーやシングルマザーへの子育て支援が少ない。	シングルファザーやシングルマザーへの支援が少ない。
	防犯カメラ整備の継続は必要。	カメラの設置には賛否あるが、歩いているだけでも暗いところがある。特に冬場は暗いため、子どもや女性が安全に帰宅できると良い。 春になると不審者が多いと聞く。洗練されていないまち。
	JR白新線廃線敷は避難場所として利活用できる告知が足りない。	JR白新線廃線敷の活用は、災害時の避難場所としての機能と公園としての活用について初めて知った。今後も住民に知らせたり、利用の促進は有効であると思うので、もっと告知してほしい。
	高齢ますます元気教室の詳細条件を見直す必要がある。	高齢者への生活支援、高齢ますます元気教室は、3ヶ月の期限。送迎なしという条件も有り。人集めが大変と聞いています。
	介護予防教室の講師不足を改善する必要がある。	介護予防教室を自主的に2、3名の方でローテーションされているが、課題の通り年配である。
	元気な高齢者に対しても楽しく生活できるような配慮が欲しい。	健康でないと生きてはいけなと言われていたみたいだ。自己管理を徹底しなくてはいけないと感じる。 元気な高齢者が生きづらい。歳を取るのが肩身が狭く感じられ、罪悪感を感じる。
介護予防とともに予防介護も必要。	介護予防も重要だが、新潟は糖尿病(DM)・高脂血症などの生活習慣病の多い県と聞いている。介護予防と合わせて重要な取組みで良いと思う。	
I-2快適な生活環境の整備		
プラス	東区クリーン大作戦は良い。	定期的にコミ協を中心にゴミ拾い(クリーン作戦)や公園の草刈り、花植えが行われている。
マイ ナ ス	駅からのインフラ整備が必要。	駅からのインフラが整っていないため、車で送迎になる。バンカラ風。中央区とは違う。
	公園などでのマナーや自転車の利用などの整備が必要。	教育以外の場所で子どもが有料で習い事やスポーツをする時、乗用車などで送迎したり、大人が関わり見守られているが、それ以外の場所では放置されている(公園などでのマナーや自転車の利用など)。
	自転車専用走行スペースが欲しい。	自転車専用走行スペースが少ない。(自転車通学している学生からの意見です)
I-3信頼される区役所づくり		
プラス	職員研修やオンライン対応の効果が出ている。	以前、窓口が混みあっているのをよく見たが、最近は順番待ちしている人が少ないと思う。
マイ ナ ス	行政窓口担当サービスが分かりづらい。	行政サービスが多岐にわたっており、どこの課が担当しているのか不明確で分かりづらい。

I. 心地よく暮らしやすいまち【2班】

ま と め ま た は	本当に困っている人を連携して助ける。
	もっとPRする。
	「東区はキレイ」という方向性はそのままグレードアップする。

これまでの取り組みの評価		評価の集約または今後の方向性	
		個別意見	まとめ
I-1健康で安心安全に暮らせるまちづくり			
ブ ラ ス	乳幼児～中高年生まで幅広い子育て支援の事業が実施されていて、それぞれに悩み、困り事を相談したり仲間づくりなどにかかされている。 学校と地域の連携ができています。	自治会・公園管理など、さらに連携してやっていきたい。	横のネットワークの中でつながり、地域と学校・区と協力機関の連携を強化する。
マ イ ナ ス	コロナ禍で孤立する保護者が増えている。同じことが高齢者でも見られる(外出控えにより頼るところがないなど)。 他機関との連携がもっと必要。 健康づくりは地域のスポーツセンターの協力が得られるのではないかと。 子育て支援が足りない。 出産前のフォローが足りていない。	支援が行き届いてない。 スポーツセンター職員は高齢者の健康への意識が高いため、協力してくれそうだった。 困っている人を救うためにもっと広報が必要。	若者から高齢者まで本当に困っている人を連携して助ける。
I-2快適な生活環境の整備			
ブ ラ ス	東区内では、目に余るほど汚れている所は見当たらず、おおむねきれいな環境が保たれている。 自治会などのクリーン作戦やボランティアなどには進んで参加する人が多い。 ゴミ協などが中心となって一斉清掃への取り組みがしっかりとできて地域全体の意識が定着してきている。 地域において一斉清掃の取組が定着し、さらにポイ捨てゴミ減少から草刈りなどへ取り組み内容が進化している。 公害防止が進んでいる。公害苦情件数を減少させるための事業としてきちんと調査、助言、指導などしたことで効果があつてよかった。 ゴミ収集については出す方も集める方も概ねルールを守り順調にしているのではないかと。		方向性はそのまま、グレードアップする。
マ イ ナ ス	大きな声でのクレームがまかりとおってしまう。 クリーン作戦の内容については、もっと自治会ごとの事情によって自由度を高め補助金の縛りを極力なくす(自治会を信頼する)。 ゴミのない美しいまちづくりのために、住民が特に心がけたいことを区として統一的に啓発してはどうか。ポスターやステッカーなどで。 通船川はまだ人が歩けない。 じゅんさい池の整備を計画的に一住民のうるおいの場 参加者の固定化などが(若い世代があまり出ていない)見受けられるため、活動の仕組みに工夫が必要ではないかと(子育て世代も参加しやすい時期(夏休み)とか)。 クリーン作戦や海岸清掃などはもっとマスコミ報道を活用したい。他への啓発とともに、やっている人の自覚と意欲が高まる。 調査対象は一巡で終了だが、新たに公害が発生したときの仕組みなどを作っておく必要があるのではないかと。 ゴミ回収の際の分別が細かくて対応できず。ゴミを捨てられないで家にゴミが溜まっている。 区バスの運行を区役所へのアクセスばかりではなく別のルートも考えてみてはどうか(松崎ルートは長すぎるのもう少し短いルートも作るなど)。 区バスだけでは移動の需要をカバー出来ない。 高齢者の買い物について行き先が区内に限り、月に1回程度使えるタクシー券を配布しては。区バスは使いづらい。		使いたい時使える交通手段を整備する。
I-3信頼される区役所づくり			
ブ ラ ス	例えば各自治会単位で行っている東区クリーン大作戦は区役所の関わりにより、区としての一体感が生まれている。		もっと区と区民の一体感を生み出す。
マ イ ナ ス	他の区と比べてPR不足。 広報が上手くいけば区だより全体の質が上がるのでは。 SNSにしても若い人の興味をひかないといけない(検定など)。		他区に負けないPRをする。

I. 心地よく暮らしやすいまち【3班】

ま ポ と イ め ん ま ト た は	中学生がポイントだ！
	①多世代交流で体制作り・場づくりをしたい ~ 心は昭和。目指すのはサザエさんです。 ②区バスについて盛り上がりました。
	東区の職員は最高！

これまでの取り組みの評価		評価の集約または今後の方向性	
		個別意見	まとめ
I-1健康で安心安全に暮らせるまちづくり			
ブ ラ ス	高齢者は要職を担って頑張ってくれた。	要職は高齢者が多いが時代を担って来られたご苦労があります。	予算で賄えることはできているが、それできないことは自治協等で補っていく(協議する)ことが望ましい。
	自治会の中でやりくりを上手にしている。	防犯灯のLED化は電気料金が全額補助となり自治会の負担が減った。	
	防犯カメラは抑止力になっている。	防犯灯の電気料金を積み立てている。	
	地域安全マップのiPad活用は良い。	防犯カメラの設置は地域の犯罪抑止力の向上につながった。	
	安全マップは児童が犯罪に合わない力が付くなど良い。	地域安全マップはiPadなどを活用させての実施は良いと思う。	
	交通安全対策は緊急度を考えながらの改善は良い。	地域安全マップは児童が犯罪に合わない力が付く。	
	地域包括支援システムにより課題解決しそである。	交通安全対策は緊急度を考えながらの改善は良いと思う。	
	スポーツイベントが大人気である。	高齢者、現役世代共に大切な課題解決が2025(令和7)年に迫っております。(高齢者への生活支援 地域包括支援システム事業)	
	子どもたちの居場所は、年代の交流の場としても良い。	コミ協内でも統一した取組に格差があります。	
	妊婦保健指導事業は良い事業だ。	「第2層コーディネーター」のもと、親身になって合同従事チームで2023(令和5)年を目途に解決を目指します。	
自治会などの要職の後継者養成を進めたい。	認知症予防効果が望まれるからか、参加者が非常に多い。	担い手不足の対応として、東区の魅力や良さを伝えていくこと。「東区がいいよ!」と言える子どもたち、親世代を増やしていくことが大切。	
東区安心安全ファミリーフェスタは近隣区との連携を図りたい。	子どもたちの居場所づくりの場は、多年代の交流の場として良いと思う。今後も続けてほしい。多世代間交流したいです。		
交通安全対策は児童や生徒への啓発をすることなどソフト対策の改善が必要だ。	妊婦保健指導事業は家庭と行政をつなぐ良いきっかけだと思います。「心配なことはない?」「どうしたの?」「聞くよ」と言ってあげられるといいですね。		
LEDの補修費の負担が大きい。	要職の方には今後は任期中に後継者育成を目指し改選にご尽力願いたい。		
地域安全マップの実施主体や場所を再検討したい。	東区安心安全ファミリーフェスタは近隣区との協働開催連携を図り、財政縮小の一部を交通費等で補填されてはどうか。		
防犯カメラの維持管理費の負担が大きい。	地域安全マップはiPadなどの活用を検討すべき。自分の足で歩いて目で見えて感じることは大切。		
自主防災活動に気迫が感じられない。	LED防犯灯の補修費は高額で一時的な支出が多くなる。(特に集中して5~10個となると負担大)		
初動対応の役割分担や住民への指示内容が明確になっていない。	地域安全マップはコミ協主体だと人が集まらないのでみんなでやることに効果がない。		
学校単位で防災に取り組んでいるという情報が自治会に伝わっていない。	学校との協働作業が必要であり、先生の負担が増えるため、地域安全マップを作る活動が縮小となるのではないかと危惧している。		
「地域活動」の参加者固定化を改善するため、参加していない方々に対する「お願い」の仕方を改善する必要がある。	防犯カメラの維持管理費が全て自治会負担であり、自治会の財政を圧迫する。		
	自治会活動費から防犯カメラにかかるお金を捻出することになるため、他の活動に影響が出るのではないかと危惧している。	子どもたちへの「共育」をもっと促していきたい。中学生がリーダーになってやってくれるといいなあ。	
	コミ協合同避難訓練が主体であり、本来自主防災活動の基本である発災時の初動訓練に気迫が感じられない。		
	実際に災害が発生したことを想定した訓練の充実をお願いします。		
	避難所開設等の問題もある。		
	ペット同伴された場合、「あちらに行ってください」としか言えない状態だ。		
	学校単位で防災に取り組んでいることをこのワークショップで初めて知った。		
	学校で防災について幅広く共育されていることを初めて知った。(校長先生にお聞きになるとこのような情報が分かります。)		
	要請が1・2度の結果で判断をしていないだろうか。「3度目の正直」に向け、アパート世帯を含め「再度」丁寧な接し方を心掛け、お願いが一方通行、その場限りにならないよう接し方を工夫する必要があると思います。		

	多様な居場所が求められている。	子どもたちの居場所づくりの場は、多年代の交流の場として良いが、各年代別の場も望まれている。	
	みんなのお茶の間のような場所が欲しい。	子育て世代での交流も大切ですが、子育て経験者(ちょっと先輩やすぐ〜先輩)の方たちとの交流で得られる知識や情報も大切だ。年代を超えて交流できる場もあるといいなあ。	
	みんなのお茶の間のような場所の運営などに学生や教職退職者などが参加してほしい。	学生だけではなく、教職の退職者など地域の方たちにも協力してもらってはどうか。	
	みんなのお茶の間のような場所が子ども食堂なども連携していくと良い。	今後は子どもたちの居場所やみんなのお茶の間のような場所が子ども食堂なども連携していったらどうか。	
	コミ協の地域包括支援システムに対する対応が真剣ではない。	地域包括支援システム事業施行が2025(令和7)年に迫っているのにコミ協が真剣に取り組んでいない。	
	高齢者の健康づくりに交通手段などの理由で参加できない人が多い。	高齢者の健康づくりに参加できる人は良いが、参加する気持ちがあっても交通手段などの理由からその場所に行くことができない人も多くいる。	
	スポーツイベントは地域の偏りがある。	自宅から離れた場所での開催だと移動手段などの理由で不参加となり、参加者数に地域の偏りが出る。	
マイナ	(提案) 地域安全マップ作りの会場設定を変更したい。	地域安全マップ作りなど実施団体を子どもたちの集まる場所や団体(学童や民間運営の学童など)にも依頼してみてもいいでしょうか。 地域安全マップ作りは児童・生徒への危険箇所の周知や、安全に通学するための学習活動や見守りなどの活動を強化してはどうでしょうか。 地域安全マップ作りは子どもたちに知って分かってもらえれば違ってくると思う。その後に保護者で話し合っって対応を協議したい。	
ナス	(提案) 子ども見守り隊を恩恵制度にしたい。	子ども見守り隊は従来から高齢者として定着していましたが、担い手不足の昨今、拡大を図るために恩恵制度にはいかがでしょうか。	
I-2 快適な生活環境の整備			
ブラス	クリーン大作戦は環境保全意識の向上が図られる。	クリーン大作戦は環境保全意識の向上が図られる。	クリーン大作戦は環境保全意識の向上が図られる。
マイナ	区バス利用率が低い。財政を圧迫している。	区バスの利用率が低く、公共の助成(財政)を圧迫していく。利用者は高齢者だけ。	区バスの利便性向上を図る。
ナス	区バス時刻表を若い人にも便利に変更してほしい。	バス停まで自宅から移動できない人もいる。 時間帯が合わない(通勤や通学で使えない)。 若い人向けの時刻表にしてほしい。←河渡線は若い人利用に合わせて変えることができた。	
	赤道を走るバスを創出したい。	山ノ下方面→東新潟駅、石山駅、大形駅などと結んでほしい。	
I-3 信頼される区役所づくり			
ブラス	区役所がより身近で頼りがいのある場所になった。	区役所で行う行事が増え区民が区役所に足を運ぶことが多くなり、より身近に感じるようになった。 オンラインでの行政手続きが増えるのであれば、来庁者に対する対応はよりきめ細やかに出来るだろうと思うので、そこから日々の困っていることや心配事等、区民の声を吸い上げられるチャンスになるのではないかと。相談するほどではないけれど、ちょっと訊いてみようかなあという感じで。	大好評！ 以前より区役所職員が丁寧になっていると感じる。
マイナ	必要に応じて人の混雑が予想される部署の窓口は増やして対応してほしい。	最近ではマイナンバーカードの窓口が大変混雑していた。	
ナス	区長に出向いてきてもらう。若い世代向けの企画も実施してほしい。	PTAとのタイアップ企画や子育て講座や若い世代への研修会などの中で実施なども検討してみてもいいかな。	

II. 人が育つまち【4班】

まとめ ポイント または	コロナ禍:ふれあいが減ったが、できることをするという工夫が必要。
	学校と地域のつながり:子どもも大人も学ぶ、学びあい・相乗効果が増す。
	多世代交流:若い世代が参入する工夫が必要、(子どもはいろんなことを)経験から学んでいく。

これまでの取り組みの評価		評価の集約または今後の方向性	
		個別意見	まとめ
II-1 学習機会の充実と人材の育成 / 1. 学習支援と生涯学習の充実			
ブ ラ ス	地域教育コーディネーターの役割も定着してきているようだ。	子どもが外にでる機会は高齢の自分も育つ(清掃活動、地域の祭り、子ども食堂など)。	多世代交流から大人も子どもも学び合う。
	学校と地域を結ぶのがスムーズになっている。	高齢者がスクールで学んだ内容を、子どもに部活やクラブで教えられれば(教員の負担も減る)。	
	パートナーシップ事業で、学校への意識が改善され、敷居が低くなったように感じる(昔は行事ごとの時のみで入りづらかった)。		
	ボランティアとして学校に行きやすい。		
	学校と地域をつなぐ意識が高くなっている。		
	コロナ禍でのオンライン化により、遠くから参加できるようになった。		
	地域の行事(寺山公園のこいのぼり)は子どもが知恵を知れる(紐の結び方など)。		
マ イ ナ ス	意見交換の更なる充実をはかる必要がある、学校と地域のつながりが少なく、形式化している。		
	コロナ禍において、地域と学校の連携が薄れてきているのではないか。		
	地域との関わりを経験できていない子どもたち(小学1、2年生)がいる。		
	老人クラブに入会し、積極的に参加してもらい、シニア世代を元気にしたい。		
	老人憩いの家の多くが老朽化していて、使いにくいところがある(エレベーターがないなど)。		
核家族は大人と関わるのがすくない(怒られる経験などから社会性をみにつける)。			
コロナにより、多世代交流やふれあいの場が少ない。			
II-1 学習機会の充実と人材の育成 / 2. 人材育成の充実			
ブ ラ ス	配布資料の通りだと思う。	「コミ協は年寄り」という思い込みを壊すことが必要。	多世代交流から大人も子どもも学び合う。
		生徒会長の生徒が入るのもよいのでは。	
マ イ ナ ス	コミ協の運営は活動の時間が日中なので、若い世代が参加できない。会議を夜にしてはどうか。		
	若い世代が出やすいように工夫が必要。		
	(コミ協)参加者の固定化とグループ化が進み、輪が広がらない。		
	防犯灯が足りない、暗い道が多く、夜は歩くのが大変(特に山木戸)。		
区役所の駐車場の不足			
情報リテラシーでなんでも鵜呑みに信じてはいけけない、検索しても情報が見つけられない。			

III. 地域の力が活かされるまち【5班】

はま ポと イめ ンま た	地域活動の精査と(専門家への)アウトソーシング ～これから地域で本当にやらなきゃいけないことは何か？みんなで検討していこう～
	一家に一台タブレット！地域活動のDX化 ～地域情報の共有とプラットフォームづくり～

これまでの取り組みの評価		評価の集約または今後の方向性	
		個別意見	まとめ
III-1地域力の向上と連携強化／1. 地域力の向上			
ブ ラ ス	東区自治協議会：行政との地域を繋ぐ役割を果たしている。地域課題解決に向け活動している。	自治会町内会：行政と地域住民を繋ぐかけ橋的存在。避難訓練などを主導してくれている。	
	広報誌「かわらばん」認知度も序々に上がってきていて、号を重ねる度にアピールの工夫が見られる。今後も認知度アップ、頑張ってください。		
	コミュニティセンター等の施設があり、地域活動ができています。		
	助成金の継続。	自治会の事務委託・コミ協運営、地域活動補助金等の助成金はとても重要。事務処理は大変だが自治体の健全な存在に不可欠。継続して欲しい。	
	今後も活用できる 成果物があつた→活用していく！	詐欺被害防止シール、中学生むけリーフレット、区バスマップ、おでかけマップなど。	
	子育て支援ボランティアの育成交流がすすんでいる。	子育て支援ボランティアの育成：子育て支援ボランティアの育成と交流に取り組んでいる。	
自治協委員の体験。	市民の認知はあまり高くないが、行政や地域課題に関心をもち、大変貴重な体験になっている。大勢の方々に体験してほしい。		
マ イ ナ ス	全体として広報について限界がある→区全体でDX！	web、SNSでの情報提供がすすんでいるのか。1家に1台タブレット導入できないか。	
	IT機器に不慣れな高齢者の負担。	パソコン等に不慣れな高齢者は、事務処理の複雑さに苦勞している。誰でもできる事務処理に。	
	地域活動、今のやり方だと限界がある。	人伝いに物事が動いてる→マンパワー、担い手不足 若い世代への引き継ぎ：現役世代の年齢延長で若い人は忙しく、地域活動に目が向かない。	
	魅力ある地域活動づくりが必要。	地域の大きなイベントは高齢者のスタッフにとっては負担が大きい。世代の誰でも喜び楽しめるかつスタッフの労力が少ない地域活動の工夫が必要。	* 地域活動は楽しくなくては！ * 地域活動の見直し →次世代に向けた、新しいシステムづくりが大事
	東区自治協議会の在り方検討が必要。	幅広い世代からの参加が望ましい(県大生、高校生などゲスト)。SDGsの要素を取り入れては。	
	次世代に向けたシステムづくりが必要。	自治会町内会担い手不足/次世代育成ができていないか。持続可能な仕組みづくり/全て高齢化、人口減少が課題となっていて先行き不安/高齢化が進んでいる。70才、75才まで現役で働いている人が多く地域活動に参加者が少ない。	今のボランティアベースでどこまで何を担っていくのか？ 自治のあり方をみんなで検討して、必要ならば専門家にアウトソーシングしていく。みんなでできることはやる。
若い人への引き継ぎ	各コミ協・自治会等の地域課題と合致しないことがあり、自治協と地域とのつながりが、うまくいかないことがある。若い人は忙しい？ 定年後は、ゴルフ、旅行など趣味などを楽しみたい。地域活動には協力はするが主たるメンバーにはならない。 学校PTA役員からコミ協年間行事で参加可能なところを登録してもらい協力してもらったり、孫さんを盾に元気なおじいちゃん・おばあちゃんに協力を求めたりもしているが・・・		
III-1地域力の向上と連携強化／2. 地域内連携の推進			
ブ ラ ス	まんなかプロジェクトや県大生との連携が活発！	東区まん中プロジェクト：市民劇団は鑑賞する方々もたのしいし、劇団の方々も励みになり良い企画。身近なもの良い。県大生のクリスマスツリーは温かい。区民も県大生とふれあいながら飾りに参加できたら良い。 東区まんなか文化プロジェクト：地元で活動する地域サークル等。とても良い発表の場となっている。 県立大生との何かしらの連携が継続して進んでいる。 県立大学との連携事業の実施：若者の意見を取り入れたまちづくりを進めるため県立大学との連携を図る。 こいのぼりプロジェクトなど新事業が魅力。	
	地域のシンボルがある。新規事業が生まれている。	「寺山こい来いフェスタ」寺山公園は「新しい・広い・交通の便もよい」等から区民の賑わいや交流の場として、いろいろな立場・世代の協働を得て、幅広く盛り上げていって欲しい。	
マ イ ナ ス	東区まんなか文化プロジェクト：東区内で活動するサークルや小・中・高・大学生など幅広く連携していくことが望ましい。 地域のシンボルをもっと発展させたい！	もっと小中高生も巻き込みたい。 寺山公園(こい来いフェスタ)は東区の貴重な地域資源シンボリックな存在となりうる。地域企業や学校とコラボ。	

IV. 魅力あふれるまち【6班】

ま と め ま た は	他にない東区の独自性(工場などの産業面)をもっと強く押し出し、活かす。
	発信と理解のために、もっとPRが必要。
	大切な自然(緑)は残したい。

これまでの取り組みの評価		評価の集約または今後の方向性	
		個別意見	まとめ
IV-1個性を活かしたまちづくり/1. 地域の誇りづくり			
ブ ラ ス	展示や物品販売、また学習や待ち合わせ等で広く区民に活用されている。 地元の施設として、区民の文化活動の向上に役立っている。 東区プラザのような施設があるのは区の強み。文化団体の育成にも使えるのもっと活かしたい。 東区内の歴史や文化を知り、地域への愛着を深めている。 歴史浪漫プロジェクトなど、子どもが故郷を思い出すタネになる。		
マ イ ナ ス	利用者の幅を広げる必要がある。 施設利用者が増えたら駐車場が足りなくなるのでは？ 利用案内等のパンフレットはどこにあるのか？いつ、何をしているのかわからない。	お客さんやのぞく人を増やしたい。プラザ側で広報すべき。	
IV-1個性を活かしたまちづくり/2. 地域産業の支援			
ブ ラ ス	新幹線車両基地の見学は楽しい。		
マ イ ナ ス	展示コーナーの認知度が低い。どこにあるのかわからず、パネルだけでは素通りしてしまう。	特徴である産業はいろんな面で活かす。	特色である「産業」はさまざまな面で活用していく。
IV-1個性を活かしたまちづくり/3. 自然環境を活かした憩いの空間づくり			
ブ ラ ス	じゅんさいも復活しつつある。 海水浴場では安心安全に海水浴を楽しむことができる。 プール管理棟もあり、監視員も配置されている。 海水浴場は地元の人が清掃している。		他になく、いまある東区の特徴はまだ活かせる。そのものだけでなく、周りも含めて活かすことが大切だ。
マ イ ナ ス	保存樹が知られていない。 保存樹等の定義がわからない。選定方法は何を基準にしているのか。初めて知った。 長期的視点からみて、土地にあった木が植えられているのだろうか。 自然は無くなっているように感じる。昆虫などが減った。温暖化が原因か？ じゅんさい池のシンボルツリーである枝垂れ桜が衰えている。残したい。何本か植樹して以前のようにライトアップし、新潟市のホームページに載るようにしたい。 海水浴場は夕日がきれいなのでゴミをなくしたい。ゴミがある汚いままだとさらに汚れる。 コロナの状況で海水浴客が減少しているのは仕方がないが、新潟市で造波プールを備えているのは唯一東区だけ。もう少しPRが必要。	保存樹だけでなく、「記念樹」も残したい。 枝垂れ桜の中でボートが浮かんでいた40年前に見たじゅんさい池を復活させたい。整備して魅力あふれるまちに。 海水浴場のイメージアップを図る。	砂浜から見える夕日はとても美しいので、イメージづくりを行ってもっとPRする。
IV-1個性を活かしたまちづくり/4. 交流人口の拡大			
ブ ラ ス	東区の特徴や魅力が発信できている。	夜景だけでなく工場内部も見たい。	
マ イ ナ ス	似た内容の回が続き、レポートにくい面がある。年間を通し、多様性が必要と思う。 空港は夜は寂しい。 純粋な観光資源や観光地が少ない。	(夜景ツアーなど知られている工場以外にも)移動や輸送に関わるインフラの工場などもある。	

■各グループの意見交換の記録（ワークシート）

自治協議会ワークショップ用ワークシート(1班)

I 心地よく暮らしやすいまち

目指す区の方向性

※今後の方向性で整理された意見を踏まえて、東区役所にて方向性を文章化します。

I-1健康で安心安全に暮らせるまちづくり

取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

評価の集約
または
今後の方向性

I-2快適な生活環境の整備

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

評価の集約
または
今後の方向性

I-3信頼される区役所づくり

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

評価の集約
または
今後の方向性

1 班

① 子供の安心安全を守り
これを継続していく
任組みが不可欠。
1班 (大切) にしたい

② 良サービスを継続
お相手手を
任組みが不可欠。
1班 (大切) にしたい

③ 障害者も高齢者も
健康と不健康と両
心地よく暮らせるまちづくり
必要だ。全部ちゃんとして
(大切) (みんな) 😊

自治協議会ワークショップ用ワークシート(2班)

I 心地よく暮らしやすいまち

目指す区の方向性

※今後の方向性で整理された意見を踏まえて、東区役所にて方向性を文章化します。

I-1健康で安心安全に暮らせるまちづくり

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

評価の集約
または
今後の方向性

I-2快適な生活環境の整備

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

評価の集約
または
今後の方向性

I-3信頼される区役所づくり

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

評価の集約
または
今後の方向性

2 班

本当に困っている人を
連携して助ける

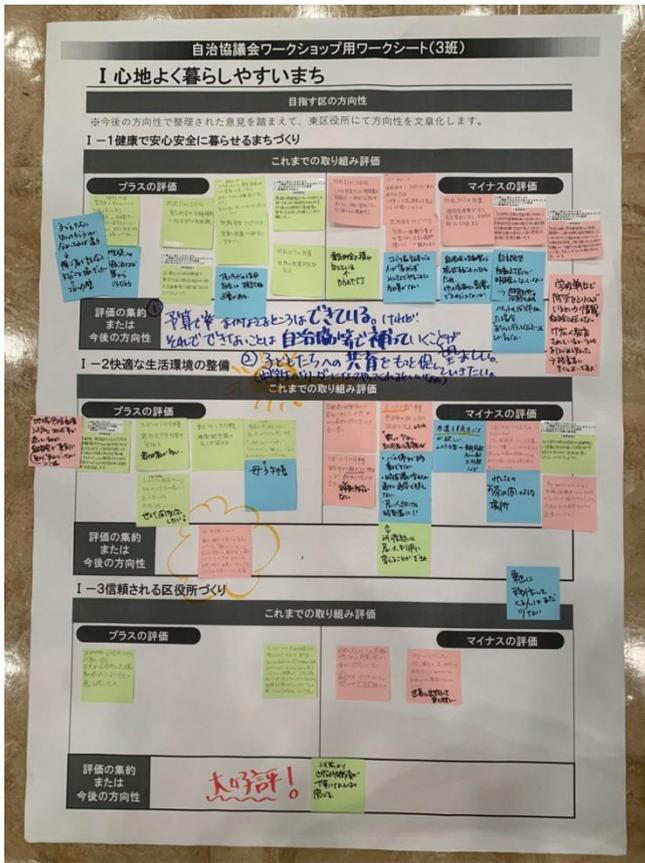
2班

もっと
PR

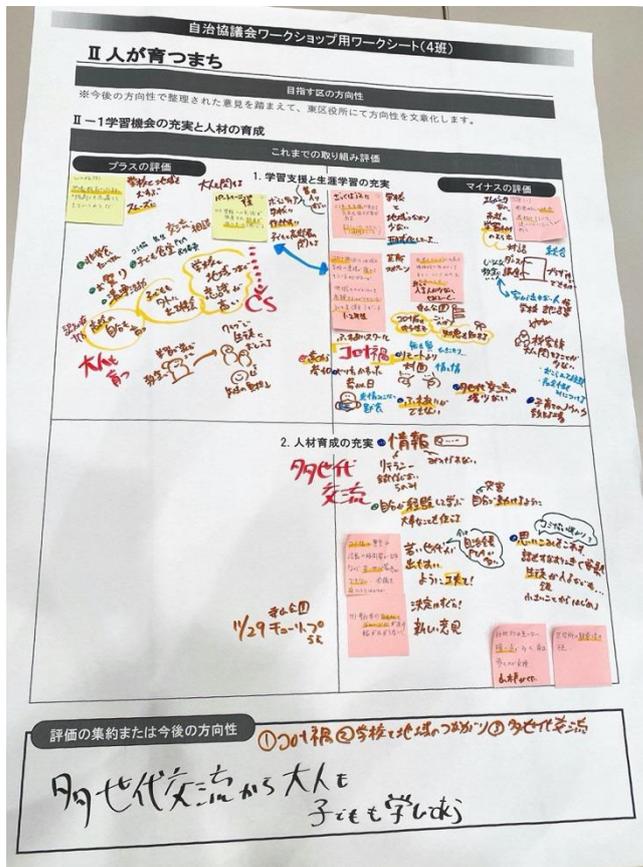
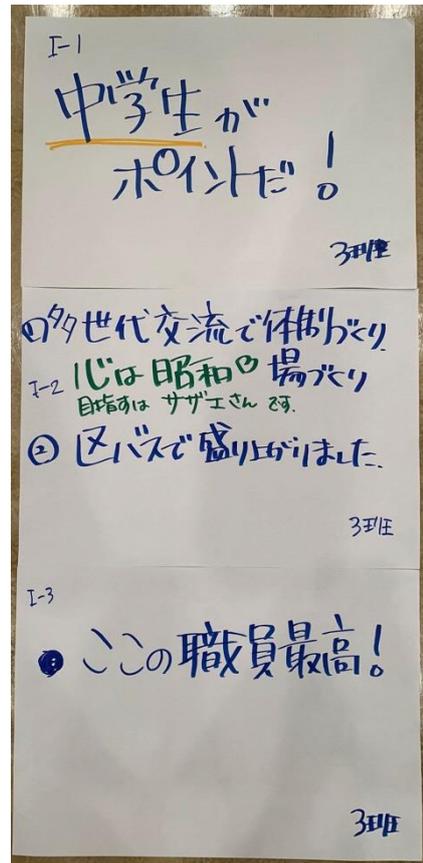
2班

「東区はキレイ」
方向性そのまま
グレードアップ

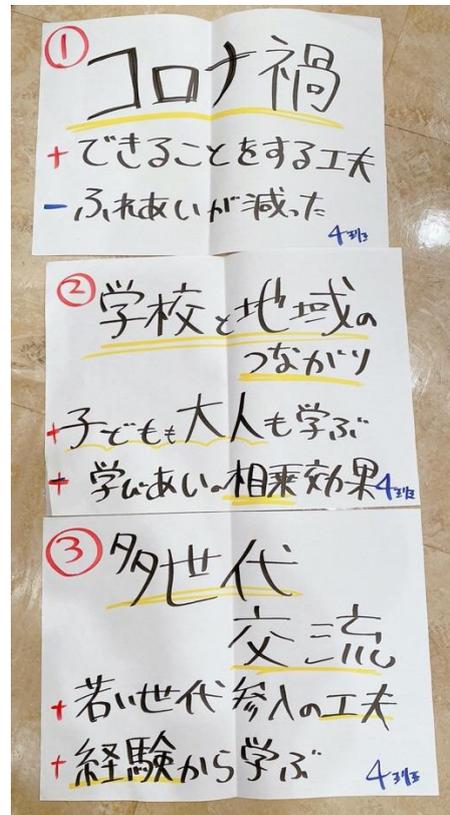
2班

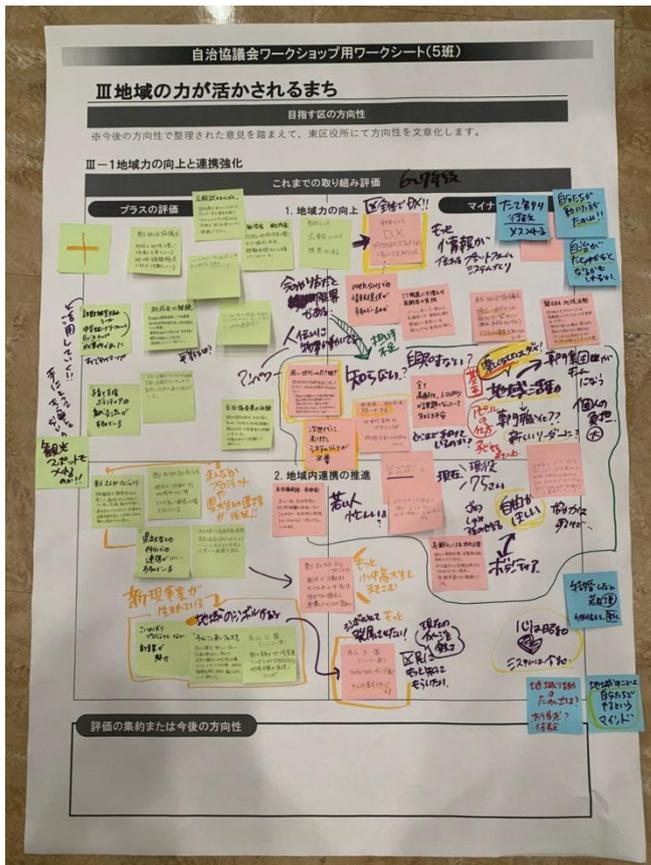


3 班

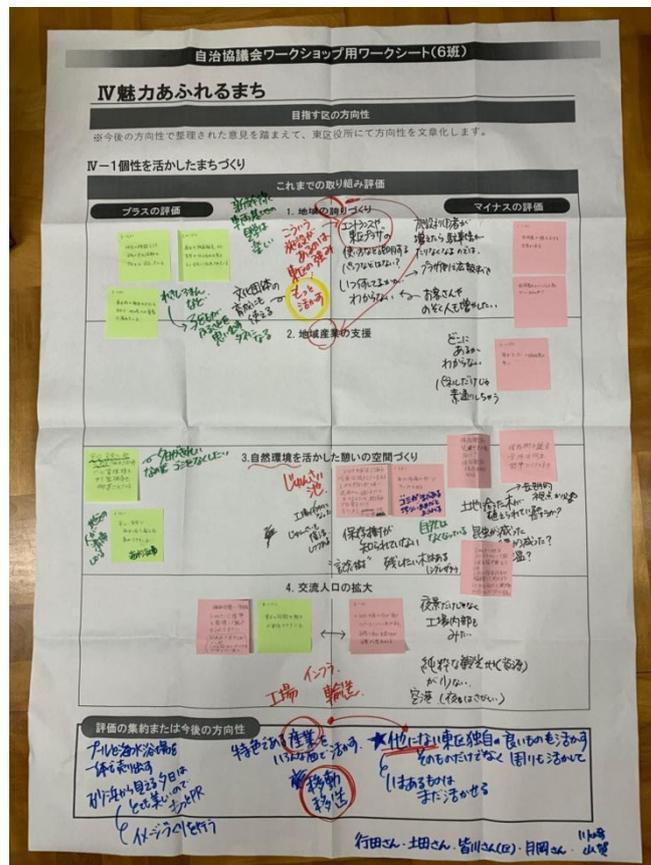
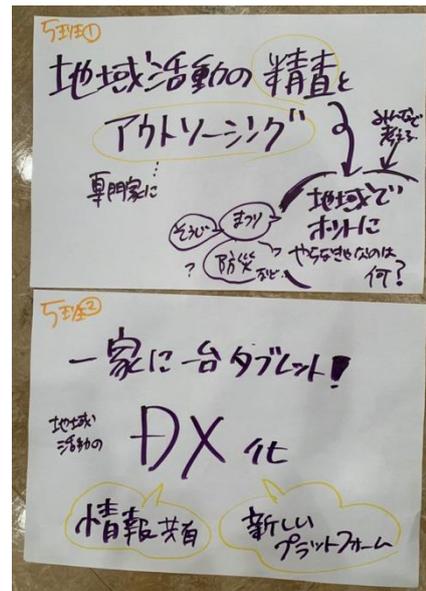


4 班

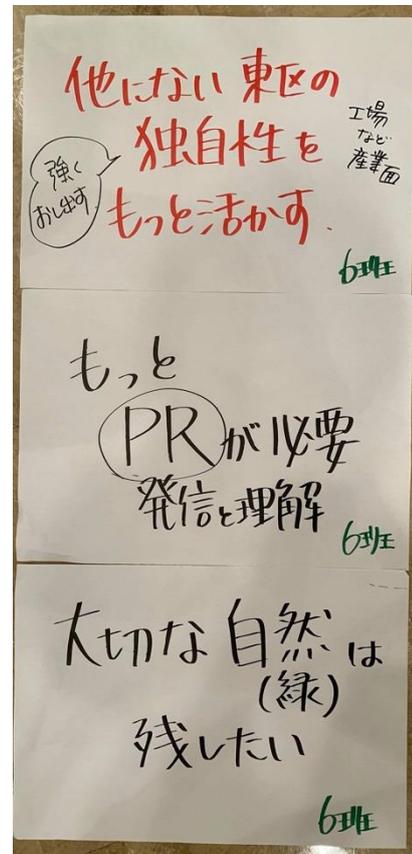




5 班



6 班



3. 参加者のふりかえり

シート回収数 25 枚

〈Q1〉全体の満足度

平均値 4.24

(とても満足した：5 満足した：4 普通：3 不満だった：2 とても不満だった：1として算出)

〈Q2〉Q1でそう思った理由は？

■とても満足した（8名）

- ・まずは、とても楽しく、充実した時間を過ごせました。年代、性別、立場の違う方々の意見が聞け、でも目標とする所は同じだったことに気づけて良かったです。
- ・短時間ではあったが、自由な意見が出ていた。
- ・自分の考えが広がったり、深まったりしたから。
- ・自分には無い意見がたくさん聞けたのでとても有意義な時間でした。
- ・区バスの利用者が減ったというのは同感しました。高齢者が増えたのもあり、乗りたくても乗れない人が増えた。
- ・ファシリテーターさんがうまく話を引き出してくれた。
- ・ファシリテーターの方のすばらしい進行で、自信のなかった意見に気落ちしていたのですが、最後はとてもすっきりしました。沢山、自分の意見も出すことができました。さすがです、一番の感動です。
- ・班編成の工夫が良かった。

■満足した（15名）

- ・色んな意見がでて良かった。
- ・色々なアイデアが出されたこと。
- ・東区に関心を持って色々な意見が発言された事。
- ・充分話しができた。
- ・互いの意見について詳細面まで話し合えた。
- ・参加しているみなさん、それぞれの意見・考えが発言できていたから。
- ・テーマをしぼって前もってポストイットに宿題として出されていまして、班の各々から多くの視点での思いが書かれて、集約した内容で良かった。
- ・熱心に討論された。
- ・少人数で密な話し合いができたから。
- ・思っている事がお互い気安く話せた。
- ・普段感じている事を伝える事ができた。
- ・自分の思い（意見）をグループに発表できた。テーマについて深く考える機会となった。
- ・自分の意見がとり入れられ、グループの成果になったこと。
- ・他の人の意見が参考になったこと。
- ・参加した人たちの意見を多く聞くこと、考えることができた。
- ・違った視点で様々な意見や考えが聞けた。
- ・皆さんの出た意見をファシリテーターさんにまとめていただき、わかりやすかった。

■普通（2名）

- ・テーマに対して時間が足りないように思った。

〈Q3〉WSでの気づき

- ・皆の意見がためになった。
- ・他の人の意見を聞くことができ、すばらしかった。
- ・自分自身が知らない事が出てきた事。
- ・自分の気づかなかったことに、気づかせていただいた。
- ・自分の気づかないような事をたくさん気づいている人がいる。たくさん教えてもらえた。これからさらに自分で考えられるようになった気がします。東区の良さが、改めてわかりました。
- ・何げに毎日を過ごしている中で、物の見方や考え方が自分たちの年代（子育て世代）を中心に考えていたり、優先していたりしていることに気づきました。
- ・自宅でふせんに記入している時は自分の考えだけに集中してしまっただが、他のメンバーや班の発表を聞き考えが広がった様にした。
- ・皆さんの意見を色々お聞きしていく中で自分の世界が広がっていき、明日からのお手本になりました。やる気が出てきました。
- ・世代別な意見が聞けて良かった。
- ・色々なアイデアが出され、感心した。
- ・東区を良くしたい、住みやすいまちにしたいという気持ちは全年代同じだということ。未来を生きる子どもたちのために、今出来ることは何かと考えさせてもらうことが出来ました。

- ・東区について、あらためて区とは何かを考えるきっかけになった。
- ・もっと東区が良くなる要素が沢山有ると思った。
- ・皆さん地域の事を考えているんだな、心配もしているのかな？
- ・みんな熱心であった。
- ・区をよくしていくための各委員のエネルギーを直に感じる事ができた。
- ・グループのメンバーの考えは、相当な部分共通している（区民がそう思っているのではないか）
ということがわかった。
- ・少人数の方がたくさん濃い意見が出る。
- ・「昭和の心、令和の機会」というフレーズがいくつかあったこと→技術？テクニック？
- ・40年前までじゅんさい池が自然であった。まだまだ東区に対して知らない事が多い。
- ・「人が育つまち」のテーマでしたが東区の高齢化は他地区にくらべ、一層加速される。高齢者が、ともに育つ町になってほしい（機会となる）。
- ・ワークを進める上で、ルールが指示されたことが良いと思った。参考にしたい。
- ・まちづくり学校の運営司会は手慣れており、互いの意見を誘導していた。
- ・何でも自分達でやるのではなく専門家に投げればよい。アウトソーシング。
- ・ばく然としたビジョン作りのためのワークショップで、想像したよりも具体例が出て来て良かった。

〈Q4〉WSで嬉しかったこと・残念だったこと

■嬉しかったこと

- ・委員の皆さんの積極性のようなものが垣間見られた。
- ・委員全員が関心を持って意見を出した事。
- ・共感できる意見が沢山あり、うれしかったです。
- ・他の班の方々の考え、意見がまた自分たちの話し合いになかったもので、とても新鮮だった。
- ・みんなで笑いながら未来を考えることが出来てうれしかったです。
- ・「皆さんが前向き」が嬉しく。
- ・皆さん一生懸命東区の事を考えていて下さる事が嬉しかった。
- ・皆さん東区民なんだな、と感じる事が出来とても嬉しかった。
- ・特に情緒的に嬉しかったことはなかったのですが、グループである程度結論を得たことはよかったと思います。
- ・表現の仕方により、思いが伝わらないこともありますが、ポストイットによりしぼられて、整理されよかった。
- ・自分の書いた意見と同意見があったこと。
- ・通常の自治協議会では話し合えない細部にまで話し合えた。
- ・Q3でも書きましたが、たくさんのお話を教えてもらえたことがとてもうれしかったです。
- ・嬉しかったことはQ1～Q3に同じです（ファシリテーターの進行が良かった、他の人の意見によって自分の世界が広がった）。
- ・大変良かった。
- ・総合計画の元となる、この区ビジョンワークショップという機会に参加できたことは貴重。
- ・このワークショップがビジョンに反映されることを期待したい。（自分も微力ながら関わった

ことに関して)

■残念だったこと

- ・もう少し時間がほしいです。
- ・残念だったことはもう少し時間が足りなかったことです
- ・班内の意思がうまく発表できなかった。
- ・自身のワークショップの経験が未熟である事を実感した。
- ・せっかくなので、もう少しまとめた意見を持ってこれたら良かった。
- ・残念だったことは「もう少し近くて遠い未来」を前提に話ができればよかったです。
- ・これまでの取組評価について、材料（知識）が不足しているように思います。

〈Q5〉 その他、気づいたことなど

- ・ワークショップは楽しいです。
- ・普段あまり1部会、2部会の方と話す機会がないので、皆熱くて楽しかったです。
- ・皆さんのレベルが高いので感心しました。
- ・時間制限をもっとゆるくして欲しかった！発表の時間が短い！！
- ・もう少し時間があれば他のチームの方とも意見交換したかったです。
- ・もうちょっと若い人もいた方がいい。
- ・現状の課題が多く出され、新しい事に取り組むのも大事だが、現状を充実させていく必要性を感じた。

- ・東区がさらに暮らしやすい地域になるよう、気付いたことなどを発言していきたいです。
- ・人との触れ合いがイヤになってから、ずっとひきこもってきたが、久し振りに人との意見交換を行い、自分の視野の狭さに気づかされた。ありがとうございました。
- ・高齢者が増える最近、タブレットの配布が出来ればと思う。家で運動等教室に行けなくても運動が出来る。
- ・ありがとうございました。(2)
- ・ファシリテーターさんのお力のおかげでとても楽しく参加させていただきました。
- ・ファシリテーターさん、ありがとうございました。
- ・ファシリテーターの方々、お疲れ様でした。
- ・準備して下さった皆様、ありがとうございました。
- ・特にありません。